

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

第 46 週(11 月 13 日～11 月 19 日)のトピックス **流行注意報発出中**

- ・定点医療機関からのインフルエンザ患者報告数は、5,082 人、定点当たり 12.25 人
(昨年同時期 定点当たり 0.30 人)
- ・インフルエンザ様疾患による集団発生事例の報告数は、218 件
- ・全国における定点医療機関からの患者報告数は、106,940 人、定点当たり 21.66 人

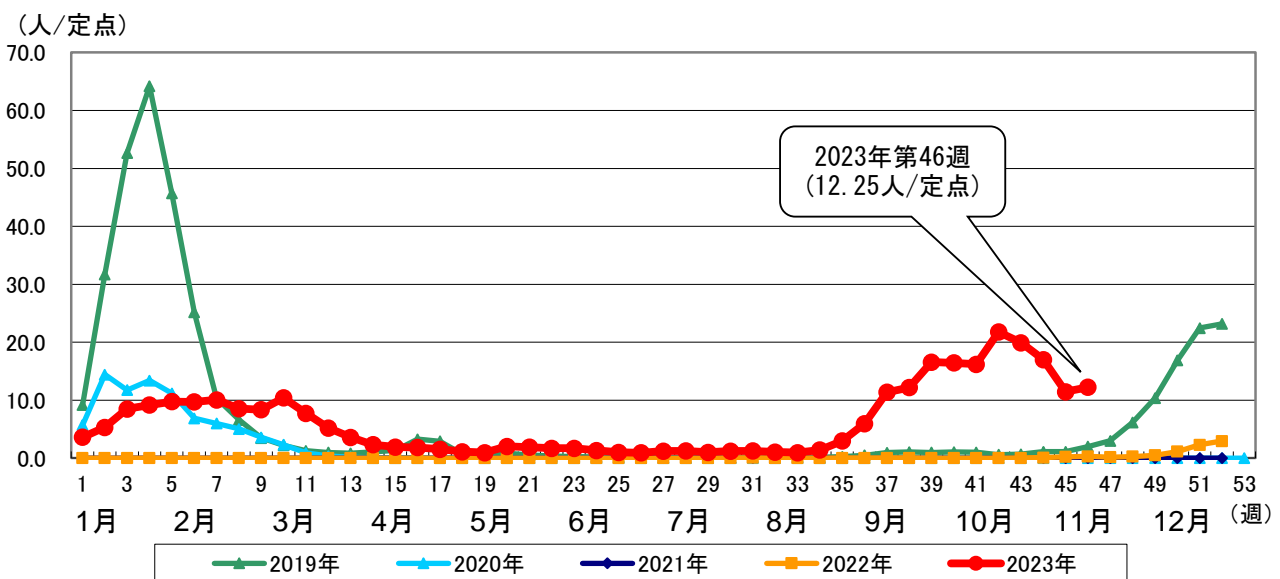


図1. 東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移※

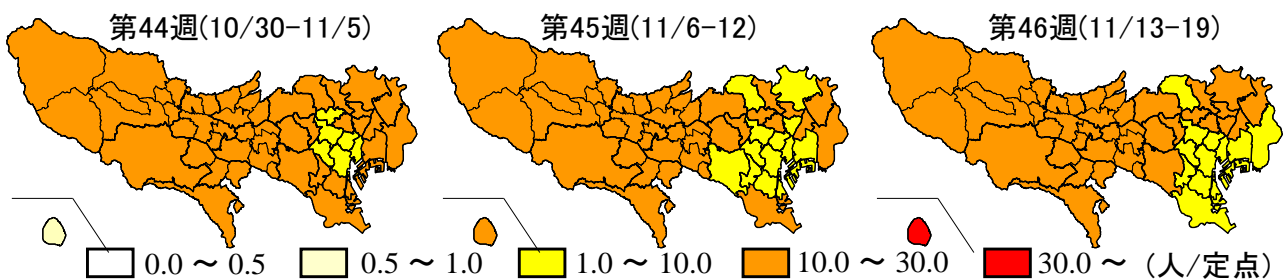


図2. 都内の保健所別定点当たり患者報告数(第44週～第46週)

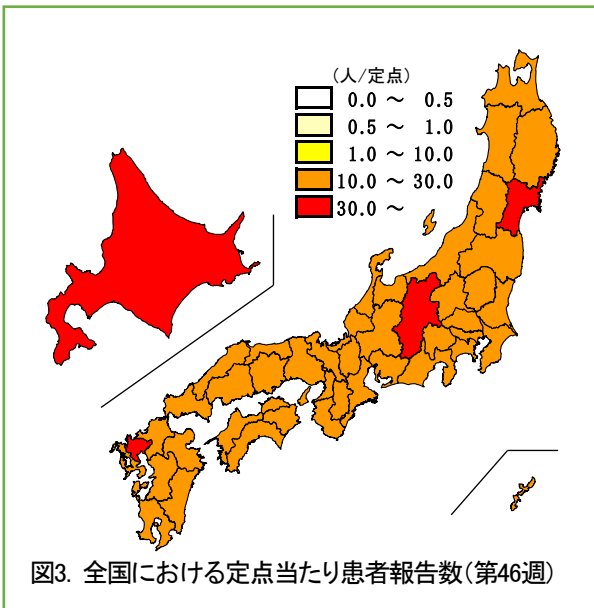
1. 定点医療機関からの患者報告数

【東京都】 インフルエンザ定点医療機関*からの患者報告数は5,082人、定点当たり12.25人(前週:11.46人/定点)でした(図1)。

定点当たりの患者報告数は、島しょ(53.50人/定点)で30.00人**を上回りました。他に、

定点当たりの患者報告数が10.00人**を上回ったのは、荒川区(23.71人/定点)、中野区(21.40人/定点)、多摩小平(18.55人/定点)、葛飾区(17.54人/定点)、八王子市(17.33人/定点)、北区(16.55人/定点)、多摩立川

(14.14人/定点)、墨田区(14.13人/定点)、台東(13.71人/定点)、杉並(13.24人/定点)、足立(13.20人/定点)、多摩府中(12.70人/定点)、文京(12.43人/定点)、南多摩(12.21人/定点)、西多摩(11.71人/定点)、町田市(11.62人/定点)、池袋(11.00人/定点)、練馬区(10.29人/定点)及び世田谷(10.26人/定点)の19保健所管内と、30.00人を上回った島しょの計20保健所管内でした(図2)。



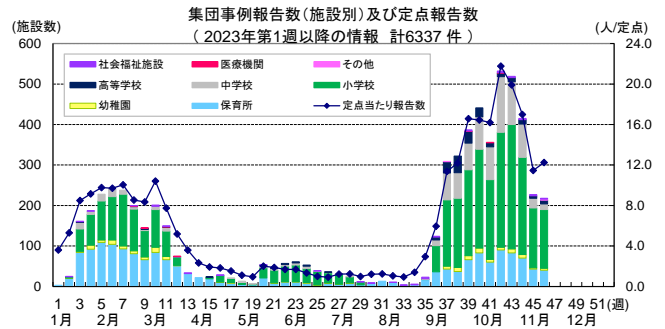
【全国】患者報告数は106,940人、定点当たりの患者報告数は21.66人でした(前週:17.35人/定点)。

定点当たりの患者報告数は、佐賀県(47.26人/定点)、北海道(39.21人/定点)、長野県(35.59人/定点)、宮城県(31.86人/定点)で30.00人を上回り、愛知県(28.88人/定点)、山形県(28.77人/定点)、鳥取県(28.59人/定点)、福島県(28.35人/定点)、長崎県(28.23人/定点)、福岡県(27.56人/定点)、熊本県(27.20人/定点)、鹿児島県(26.73人/定点)、山口県(25.64人/定点)、大分県(25.38人/定点)、山梨県(24.93人/定点)、三重県(24.58人/定点)、岡山県(24.46人/定点)、群馬県(24.15人/定点)、広島県(23.73人/定点)、岩手県(23.38人/定点)、島根県(22.61人/定点)、香川県(28.88人/

定点)等、47都道府県全てで10.00人を上回りました(図3)。

2. インフルエンザ様疾患の集団発生報告数

集団発生報告は、218件(小学校145件、保育所40件、中学校14件、高等学校9件、幼稚園5件、社会福祉施設2件、その他の施設3件)ありました(図4)。



3. インフルエンザによる入院患者報告数

基幹定点医療機関**からインフルエンザによる入院報告は、40件ありました(図5)。

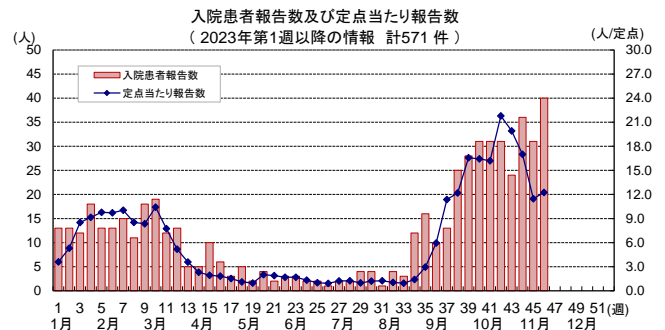


表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

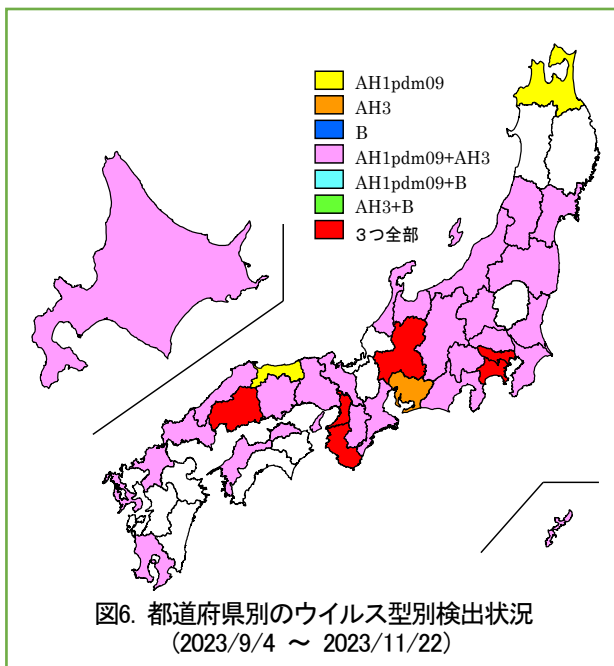
搬入週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス				
			AH1pdm09	AH3	B Victoria 系統	B Yamagata 系統	B 系統不明
第36週(9/4-10)	13	10	4	6			
第37週(9/11-17)	10	8	4	4			
第38週(9/18-24)	11	9	3	5	1		
第39週(9/25-10/1)	16	15	5	9	1		
第40週(10/2-8)	12	11	4	7			
第41週(10/9-15)	10	9	3	6			
第42週(10/16-22)	20	15	6	9			
第43週(10/23-29)	19	15	9	6			
第44週(10/30-11/5)	17	16	8	7	1		
第45週(11/6-12)	検査中						
第46週(11/13-19)	検査中						
合計	128	108	46	59	3	0	0

インフルエンザ情報発行時点で検査結果が判明したものを掲載

4. ウイルス検出状況

【東京都】 2023 年第 36 週から第 44 週までに病原体定点医療機関***から128検体が搬入され、AH3亜型が59件、AH1pdm09が46件、B型が3件検出されています(表1)。

【全国】 国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)等によると、35都道府県からAH1pdm09、34都道府県からAH3亜型、6都府県からB型の検出が報告されています(図6)。



* **インフルエンザ定点医療機関** インフルエンザ患者数を把握するために指定された、小児科および内科の医療機関419か所(全国約5,000か所)

** **基幹定点医療機関** インフルエンザ入院患者数を把握するために指定された、主に内科の医療機関25か所(全国約500か所)

*** **病原体定点医療機関** ウイルスの発生状況を把握するために指定された、インフルエンザ定点医療機関41か所(全国約500か所)

※ 患者発生が昨シーズンから継続して発生しているため、例年は第36週からの流行曲線を使用していますが、今シーズンにおいては、当分の間、第1週からの流行曲線を使用して、情報提供を行っています。

※※インフルエンザの定点当たり患者報告数が、10.00人/週を上回った場合、注意報が発出され、30.00人/週を上回った場合、警報が発出されます。いずれの場合も、保健所の管内人口の合計が、東京都の人口全体の30%を超えた時には、広域的に流行が発生・継続しているとして、注意報・警報が発出されます。



◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター

企画調整部健康危機管理情報課

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S1153803@section.metro.tokyo.jp

<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/>